

第七十回
帝國議會
貴族院

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ
充ツル爲公債發行ニ關スル法律案
特別委員會會議事速記録第五號

昭和十二年三月二十九日(月曜日)午後四
時四十八分開會

○委員長(侯爵小村捷治君) 是ヨリ開會致
シマス

○加藤政之助君 極ク簡略ナル質問ヲ二三
シタイト思ヒマス、此ノ法律ニ依ッテ發行シ
得ル金額ハ五千二百二十萬圓ト云フコトデア
リマスガ、其ノ内譯ハドウデアルカ、ソレ
カラ前回ノ追加ト本豫算ニ計上サレタ額ト、
總體合セテ赤字公債ノ十二年度發行ノ總額
ハ幾ラニナルカト云フコト、ソレカラ多分
交付公債ト云フモノハ其ノ外グラウト思フ
ガ、ソレガドレダケニナッテ居ルカト云フ
コトデス、ソレカラ日本銀行ノ金買入ニ關
スル過去ノ金額ガドウデアルカ、現在ノ所
有ハ幾ラアルカ、是カラ買入レ得ルト云
フ年産額ノ豫想ガドウデアルカ、ソレカラ
正貨準備ガ總額ドレダケアルカ、ソレカラ
神戸商業大學ノ移轉改築ニ充用シタル總額
ガ千三百餘萬圓ト云フノデアルガ、官立大
學ノ資金ノ總額ト云フモノハ幾ラアルカ、
ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今御尋ノ今回
追加發行ニ依リマシテ、之ヲ財源ニ充テマ

ス其ノ經費ハドウ云フモノデアルカ、斯ウ
云フ御尋デアリマスルガ、是ハ十二年度ノ
追加豫算ハ合計五千八百十九萬七千九百二
圓デアリマス、トコロガ此ノ内ニ普通歲入
ヲ以テ財源ト致シテ居リマスモノガ六百五
十七萬圓ゴザイマス、其ノ内譯ハ、金地金
現送ニ伴フ貨幣交換差増ノ收入見込額ガ五
百八十四萬圓デアリマス、官立大學特別會
計資金部ヨリ繰入ガ七十萬圓デアリマス、
帝國燃料興業株式會社設立費ノ立替金ノ返
償ガ三萬圓デアリマス、合セマシテ普通ノ
財源ガ六百五十七萬圓、尙此ノ本追加豫算
ニ依ッテ滿洲事件費ノ歲出ガ四十三萬五千
九百四十八圓アリマスガ、是ハ滿洲事件公
債ヲ以テ支辨スルコトニ致シマシタ、右中
シマシタ普通歲入ノ六百五十七萬圓ト、滿
洲事件公債四十三萬五千九百四十八圓、此
ノ二口ヲ十二年度一般會計ノ追加豫算總額
五千八百十九萬七千九百二圓カラ引キマシ
タ殘餘ノモノヲ、全部此ノ歲入補填公債ニ
依ルコトニ致シマシタ、仍テ是ガ五千百十
九萬一千九百五十四圓ト相成ルノデアリマ
スルガ、從來ノ例ニモ從ヒマシテ、五千百
二十萬圓ニ切上ゲテ丸ク致シタ、斯ウ云フ

次第デアリマス、次ノ御質問ハ何デゴザイ
マスカ

○加藤政之助君 赤字公債ノ十二年度ノ總
額ハ幾ラデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 十二年度ノ赤字
公債ノ總額ハ、本豫算ニ於キマシテ四億八
千七百四十萬二千五百九十五圓ゴザイマ
ス、ソレニ今回ノ追加豫算ニ於キマスル五
千百十九萬一千九百五十四圓、之ヲ加ヘマ
シテ合計五億三千八百五十九萬四千五百
四十九圓、斯ウ相成リマス、但シ此ノ内、
所謂陸海軍ノ歲出ノ實行ノ見合額四千六百
萬圓ニ相當致シマスモノハ、事實上之ヲ本
年度ニ於キマシテハ、募債ヲシナイデ濟ム
コトト存ジテ居リマス、尙御質問以外ニ互
ルカモ知レマセヌガ、本年度ノ各種ノ公債
總額ハ交付公債ヲ入レマセヌデ、歲出ノ財
源ト相成リマスル公債ノ總額ニ付キマシテ
申上ゲマスト、一般會計ハ八億二千二百四十
五萬一千五百七十九圓デアリマス、其ノ内、震
災善後公債七百三十五萬三千七百三十三圓
デアリマス、道路公債一千五十九萬八千七百
七十一圓デアリマス、滿洲事件公債ハ二億六
千五百九十萬四千五百二十六圓、ソレニ只

今申上ゲマシタ歲入補填公債五億三千八百
五十九萬四千餘圓ヲ加ヘマシテ、合計八億二
千二百四十五萬一千五百七十九圓トナルノデ
ゴザイマス、尙特別會計ニ於キマシテハ、追加
豫算ニハ公債ガアリマセヌガ、本豫算ニ於
キマシテ、帝國鐵道ニ於テ四千二百萬圓、
通信事業ニ於テ三千六百萬圓、朝鮮總督府ニ
於キマシテ六千五百萬圓、其ノ外ニ特別會
計ハ公債ヲ以テ財源ト致シテ居ルモノガア
リマセヌ、其ノ三者デアリマスルガ、之ヲ
合計致シマシテ、一億四千三百萬圓デアリ
マス、從ヒマシテ一般會計特別會計兩者ヲ
合計致シマスルト、本豫算、追加豫算ヲ通
ジマシテ、九億六千五百四十五萬一千五百
七十九圓デアリマス、尙實際上ハ、陸軍、
海軍兩省ノ使用ヲ見合セ引當四千六百萬圓
ヲ是ヨリ引キマスルト云フト、九億一千九
百四十五萬一千五百七十九圓デアリマス、
大體本年度ノ此ノ公債發行ハ、豫定トシテ
九億二千萬圓ト大體御承知ヲ願ヒマシテ宜
シイト思ヒマス

○加藤政之助君 交付公債ハ其ノ外幾ラア
ルノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 其ノ方ハアトデ

申上ゲマス

○加藤政之助君 日本銀行ノ金買入ノ方ハ……

○政府委員(賀屋興宣君) 日本銀行ノ金買

入ニ付キマシテ申上ゲマスガ、是ハ昭和九年四月二十六日より本年ノ三月二十六日マデノ間ノコトニ付キマシテ申上ゲマス、其ノ間純量、金ノ純分ノ量目ト致シマシテ一億三十一萬二千八百八十一「グラム」ト云フモノヲ買ヒマシタ、此ノ買入價格ノ總計ガ三億一千二百二十九萬七千四百四十四圓餘デアリマス、之ヲ一匁五圓ト申シマスル所ノ貨幣法ノ價格ニ依リマシテ計算致シマスルト、一億三千三百七十四萬九千五百五十一圓餘デアリマス、從ヒマシテ只今政府ガ日本銀行ニ對シテ債務證書ヲ入レテ居リマス額ハ、前申上ゲマシタ三億一千二百餘萬圓カラ、只今申シマシタ一億三千三百餘萬圓ヲ差引キマシタモノデアリマシテ一億七千八百五十四萬七千五百九十三圓餘デゴザイマス、ソレデ此ノ本改正法律ニ依リマスル以前ノ現行法ニ於キマシテ、今ノ債務ヲ負擔致シマス限度ハ二億圓デアリマスルカラ、從ッテ債務ヲ負擔シ得ル餘裕額ハ現在ノ所一億七千八百五十四萬七千五百九十三圓デアリマス、之ニ今回ノ限度ノ擴張ノ御協賛ヲ得マ

スレバ二億圓ガ加ハリマスカ次第デアリマス

○加藤政之助君 買入レ得ル將來ノ年産額ノ豫想ハ分ッテ居リマスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 是ハ段々ニ殖エ

テ參ラウト思ヒマスルガ、一億三四千萬圓グラキマデニハ行クカト思ヒマス、多少ハ今ヨリハ殖エルグラウト思ヒマスガ、マア一億圓ハ無論越スデアラウト思ヒマス、併シ今段々ニ、昨年カラ……「ロンドン」ニ於ケル金塊相場ヲ日英爲替相場デ換算致シマシタ金額ノ約八割ト云フモノヲ從前ノ標準ニ致シテ居リマシタケレドモ、是ハ昨年ヨリ五割ニナリマシタガ、追々ニ殖エルグラウト思ヒマス、從ヒマシテ此ノ一億圓ノ限度ノ擴張デハ少シ、直キニ使ヒマシタ場合ニ於キマシテハ來年ノ議會ノ御協賛ヲ經マスマデニ或ハ窮屈ニナリ過ギテ、多少買ヒ得ラレスト云フ心配ガアリマス

○加藤政之助君 二億圓アツタデスネ

○政府委員(賀屋興宣君) 二億圓アツテ、

其ノ上ニ一億圓ノ限度ノ擴張ヲ致シマシテ三億ニ致シマス、一億二千萬圓シカ買得ル餘力ガナイコトニナリマス、少シ産金ガ餘計出マストドウカト思ハレマスノデ、二億ノ擴張ヲ願ヒマシタ次第デアリマス、尙私ガ先程申上ゲマシタ數字ニ多少讀ミ違ヒガ

アルトイケマセヌカラハッキリ申上ゲマス

ガ、一億七千八百五十四萬七千五百九十三圓ハ、債務ノ負擔額デアリマスルカラ、更

ニ現在ノ二億圓ノ範圍デハ債務ヲ負擔シ得

ル餘裕ハ二千四百四十五萬二千四百六圓デアリマス、從ヒマシテ今回御協賛ヲ經レバ二億二千萬圓ノ力ガ出ル譯デアリマス、只今ノ數字ガ間違ヒマシタライケマセヌカラ御説明致シマスガ、一億三四千萬圓買ヒマシテモ、其ノ中ノ五圓ニ相當スル部分ハ、是ハ債務ノ負擔ニナリマセヌカラ、一億圓ヨリ下ノ債務ガ出來ル譯デアリマス、ソレデアリマスルカラ、マア大體ハ宜シイト思ヒマスルケレドモ、少シ盛シナリマスルト云フト足リナイコトニナリマス、ソレカラ尙先程御説明申上ゲマシタ歲出財源タル公債ノ外ニ交付公債ガドノ位アルカト云フ御話デアリマスルガ、是ハ絲價安定融資ノ法律ニ依リマス、生絲ノ買収ノ公債トシマシテ豫定ノアリマスルモノガ四百二十四萬三百圓デアリマス、其ノ外外務省ノ滿洲等ニ於キマスル關係ノ退職一時賜金、是ハ例ノ治外法權ノ撤廢其ノ他ニ關聯致シマシテ、日本ノ滿洲國ニ於キマスル警察官等ガ一時ニ退職スル者ガ澤山アリマス、之ニ交付スルモノガ九十一萬一千六百圓デアリマス、

合計五百十五萬一千九百圓トナリマス、尙

關東局ニ於キマシテ同様ノ原因ニテ退職スル者ガ一時ニ出マス、ソレニ交付致シマス

ルモノガ二百九十七萬二千五百二十八圓、

一般會計特別會計併セマシテ八百十二萬四千四百二十八圓、斯ウ云フコトニ相成リマス、正貨準備ノ金額ハ日本銀行ノ只今ノ準備ハ五億四千五百十四萬七千六百二十五圓デゴザイマシテ、但シ是ハ御承知ノ如ク一匁五圓ト云フ評價デアリマス、デスカラ是ハ時價ニ直スト餘程違ヒマシテ、先ヅ時價ニ直セバ十六億見當ノモノデゴザイマス

○加藤政之助君 ズット増スノデスネ

○政府委員(賀屋興宣君) マア十六億見當ノモノデアリマス

○加藤政之助君 ソレハ此ノ間輸出シタノヲ引イテアルノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) ソレハ三月十八日現在デゴザイマスカラ、最後ノ輸送ノ分ダケハ引イテアリマセヌ

○加藤政之助君 引イテナイノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 約二千萬圓足ラズデゴザイマス

○加藤政之助君 ソレカラ其ノ次ハ神戸商業大學移轉改築費ニ充用シタル金額ハ百三

十二萬圓ト云フノデスガ、ソレハ總額デスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 資金ノ總額デゴザイマス

○加藤政之助君

改築費ニ充用シテ總額デ

ス

○政府委員(賀屋興宣君) 歳出デゴザイ

スナ、歳出ハ……尙甚ダ恐縮デゴザイマシ

タガ、私設鐵道買収補償ニ關スル公債ガゴ

ザイマス、是ハ少シ大キイノデゴザイマシ

テ、一千七百萬圓デゴザイマス、是ハ大キ

ナモノヲ落シマシテ恐縮デゴザイマシタ、

ソレハ今ノ交付公債ト申スモノデハアリマ

セス、財源ノ公債デアリマス、交付公債デ

アリマセス、ソレカラ神戸商業大學ノ移轉

改築費デゴザイマス、詰リ繰入ノ元ニナリ

マスル移轉改築費ハ、決算ガ百三十二萬七

千四百五十二圓餘デゴザイマス

○加藤政之助君 ソレガ總額デスネ

○政府委員(賀屋興宣君) ソレデ只今ノ資

金情況ハ、普通ノ維持資金ト致シマシテ、

神戸商業大學ハ、官立大學全部ト致シマシ

テ、是ハ只今現金八十二萬二千四百三十七

圓デアリマス、ソレ等ノ公債ガ二十四萬九

千九百六十三圓デゴザイマス、合計百七萬

二千四百圓、斯様ニ相成ッテ居リマス、其ノ

外ニマア特別資金ヲ多少持ッテ居リマス、是

ガ十一年三月三十一日現在デ、少シ古ウゴ

ザイマス

○加藤政之助君 ソレダケデ私ハ宜シウゴ

ザイマス

○松浦鎮次郎君 是ハ私ガ誤解シテ居ルノ

デ、甚ダ迂濶ナ、幼稚ナ御質問ニナルカモ

知レマセスガ、金買入法中ノ改正法案ニ付

テデアリマスガ、第五條ヲ今回御改正ニナッ

テ、日本銀行ガ「國庫金ノ勘定ニ移スベキ

コト」ヲ下ニ「又ハ之ヲ大藏大臣ノ定ムル所ニ

依リ處分スベキコト」ヲ得、斯ウ云フ風ニ御

改正ニナルノデアリマシテ、其ノ理由ハ、

日本銀行ノ買入レタ金ヲ處分スベキコトヲ

命ジ得ル途ヲ開ク、斯ウ云フコトニナッテ居

リマスガ、是ハ現在ノ所、現在ノ規定ニ於

テハ、日本銀行ガ買入レタ金ハ兌換券ニ應

ズル準備ノ爲ニ充テロ、斯ウ云フコトニナッ

テ居ルヤウデアリマスガ、今回ハ其ノ兌換

券ノ準備ト云フコト以外ニ、處分スルコト

モ出來ルヤウナ途ヲ開ク、斯ウ云フコトデ

アルヤウデアリマスガ、先般此ノ金ヲ日本

銀行ガ持ッテ居ル金塊デスカヲ現送サレタ

ト云フコトガアッタヤウデアリマスガ、其ノ

現送ト云フコトハ、矢張り今回ノ改正ニ依ッ

テ、初メテ爲シ得ルコトナノデアリマ

スカ、若シサウダト云フト、此ノ法律ガ出

又前ニ現送サレタト云フコトガ、何ダカ少

シ變ナヤウニ思ハレルノデスガ、其ノ關係

ハドウ云フコトニナルノデスカ、アレハ關

係ガナイノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 是ハ實際上ノ考

ヘ方ニハ餘程關係ガアリマスノデアリマス

ガ、只今現送致シマシタモノハ、此ノ第五

條ノ「政府ハ海外拂其ノ他特別ノ必要アリ

ト認ムルトキハ日本銀行ニ對シ本法ニ依リ

買入レタル金ヲ其ノ買入價格ヲ以テ同行ニ

於ケル國庫金ノ勘定ニ移スベキコトヲ命ズ

ルコトヲ得」ト云フ、此ノ現行法デ、舊法デ

ヤリマシタノデス、ソレデ國庫金ノ勘定ニ

移シマシテ、移シマシタモノヲ政府ガ現送

致シマシタノデ、所謂其ノ中デ、特別ノ必

要アリト云フ、其ノ他特別ノ必要ト云フ方

ニ大體該當致スノデアリマス、元此ノ法律

ヲ作リマシタ時ニハ、國內ニ全ク溜メテ置

クト云フコトガ一番主要目的デアリマシ

テ、唯非常ニ例外ノ措置トシテ第五條デス

ウ云フコトガ定メテアリマシタ、トコロガ

只今ノ情勢ハ若干ノ金ヲ海外ニ現送スルト

云フコトハ已ムヲ得ヌ必要デアルト云フ、

政府ガ之ヲ國庫金ノ勘定ニ移シマシテ送ル

ト云フコトガ、サウナルト、ソレデモヤレ

マスケレドモ、事柄ガ甚ダ不自然デアリマ

ス、同時ニ是ハ政府ノ國庫金ノ勘定ニナリ

マスカラ、國庫金ヲ特ニソコデ一時、現送

シタモノハ内地デ使ヘマセスデ、向フデ賣

拂フマデハ縮小スルト云フ、サウ云フ不便

モアリマス、是ハ小サイコトデアリマスガ

サウ云フ不便モアル、サウデアリマスカラ、

豫テ日本銀行デ保有シタ金ヲ、場合ニ依ッテ

國際決濟ニ使フト云フコトヲ、極メテ自然

ニ運ビマス爲ニハ、何モ政府ガ國庫勘定ニ

移シマセスデ、日本銀行ヲシテ現送セシメ

ル、是ハ併シナガラ國際決濟ノ全體ノ觀點、

爲替政策ノ立場カラデアリマスカラ、之ヲ

大藏大臣ガ決メテ、サウシテ處分ヲ命ズル、

斯ウ云フコトニ致シタ次第デアリマス、今

回ノハ極ク端的ニ申上ゲレバ、此ノ改正法

ガ出來テ、ソレニ依ッテヤルノハ極メテ自然

ノヤウナ狀態デアリマシタノデスガ、舊法

モ相當例外的ノコトヲ豫測シテ居リマスカ

ラ、ソレデヤレタコトハヤレタノデアリマ

ス、唯ア、云フコトヲ自然ニ運ビタイ、斯

ウ云フ意味デアリマス、ソレカラ尙今回改

正致シマシテモ、日本銀行ガ金ヲ買入レマ

ソレデ外國ニ送りマシテ、愈々處分ヲ致シマシタ場合ニ正貨準備カラ又外レル、入ッテ又外レル、斯ウ云フコトニナリマス。

○松浦鎮次郎君 是モ何ダカ幼稚ナ御尋ニナルカモ知レマセヌガ、此ノ國際貸借ノ「パランス」デ、近年ズツト續イテコチラノ方ガ、我が國ノ方ガ外國ニ對シテ餘計拂ハナケレバナラスト云フコトニナル關係ニナッテ居リマスノデ、結局ハ矢張り金ノ輸送、金デ拂フト云フ必要ガアツタノガ、數年ズツト續イテ居ルト思フノデスガ、今マデハ其ノ決濟ハドウ云フ方法デヤッテ居ラレタノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 是ハマア能ク御承知ノコトデアリマスガ、大體日本ハ今マデ國際收支ハ、支拂勘定ニ於テハ世界戰爭前ハ何時デモソコデ國債ノ調達ト云フ問題ガ屢々起リマシテ、結局借金ニ依ッテ國際收支ノ受取ノ不足、支拂超過ヲ補ッテ居ッタ、日露戰爭後カラ世界戰爭マデサウデゴザマシタ、世界戰爭中ハ御承知ノ如ク非常ニ日本ハ四方ニ發展シマシタ爲ニ、非常ニ受取勘定ニナリマシテ、金ヲ寧ロコチラニ貰フ、ソレガズツト入ッテ居リマシタ、トコロガ世界戰爭ノ好影響ガ濟ミマシテカラ、ソレガ段々無クナルノデアリマス、昭和六年

ノ丁度金ノ再禁止前ニ於キマシテハ、金ガ全ク自由デアリマシタ爲ニ、相當巨額ノ金ガ流出致シマシタ、六年ノ暮アタリニハ流出致シマシタ、サウ云フヤウナモノガ、金ハ出マシタガ、ソレガ在外資金トシテ相當矢張り此ノ日本ノ國際決濟ノ上ニ役立ッテ居ッタと思ヒマス、ノミナラズ昭和七年カラ輸出貿易ガ非常ニ發展シテ參リマシタ爲ニ、餘程國際收支ノ工合ハ宜シカッタノデアリマス、只今マデハ特ニ昭和六年暮ノ金ノ輸出再禁止以後ニ於テ、金ヲ現送スル必要ハ餘リアリマセヌデシタ、政府ハ一遍送ッタコトガアルガ、ソレハ六年カ七年ノ……七年ノ初頃デアリマシタ、サウ云フ程度デアリマシタノデスガ、最近ニナリマシテ、一段國內ニ於テ色々生産力ノ擴充、軍備ノ擴張、色々必要ノ爲ニ、輸出ハ無論衰ヘマセヌケレドモ、輸入ヲ増加スル必要ノ方ガ起リマシタ爲ニ、多少ドウシテモ收入ノ方ガ足りナクナッテ、支出ガ殖エル、斯ウ云フコトニナリマスモノデスカラ、又多少ツツ金ヲ送ッテソレヲ補フ、斯ウ云フコトニ變化シタヤウナ次第デアリマス

○松浦鎮次郎君 チョットモ一ツ、是ハ小サイコトデスガ、神戸商業大學移轉改築費ニ充用シタル金額ノ補填ニ關スル件、是ハ一

般會計カラ資金經濟ノ方ニ立替ヘタ金ヲ返還スル譯ニナルノデスガ、總體ノ返還額ガ百三十二萬圓デ、本年ノ追加豫算デハ七十萬圓ガ返スコトニナッテ居ルヤウデスガ、是ハ昭和十三年度マデニ、ドノ年度ニハ幾ラ、ドノ年度ニハ幾ラト云フヤウナ風ナ準備計畫ガ付イテ居ルノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 是ハアノ神戸商業大學ヲ移轉致シマシタ土地ノ賣拂ヲ以テ出シマス、十三年度ノ大體豫定デアリマシガ、尙殘額ガ出來レバ十四年度ニシタイと思ヒマス、約半額デアリマス、確定致シタ譯デアリマセヌ

○堀切善次郎君 今ノ神戸ノ問題ニ關シマシテ、前ノ改正前ノ法律ヲ見マス、百三十六萬圓ト云フ金額ニナッテ居テ、此ノ百三十六萬圓ト金額ガ違ヒマスガ、此ノ關係ハドウ云フコトニナッテ居マセウカ、質問ヲ順ニ、簡單デスカラ、竝ベマスガ、ソレカラ先刻決算ガ百三十萬圓ト仰シヤッタノハ、百三十二萬圓トカ百三十六萬圓ノ豫算デアツタノガ、百三十萬圓ノ決算トナッタ爲ニ、百三十萬圓ヲ返セバ宜イト云フコトニナッテナデセウカ、ソレニシテモ此ノ百三十二萬圓ト二萬圓ノ差ガアルノハ、ドウ云フ關係ニナリマセウカ、ソレカラモ一ツ、十二年度

ニ幾ラカ入り、ソレカラ其ノ残りノ金額ハ百三十二萬圓ニ達スルマデ十三年度ニ入ルコトニナリマセウカ、或ハ財源ガ、此ノ土地ト建物ガ財源ニナッテ居ル爲ニ、ソレダケノ金額ガ足りナクナレバ、足りナクナッタダケデオ終ヒニナッテシマフ關係ニナリマセウカ、其ノ關係ヲチョット御同ヒ致シタイ

○政府委員(賀屋興宣君) 今ノ金額ノ相違ハ、御察シノ如ク只今デハ、建築ハ皆濟ミマシタ爲ニ決算ガ分リマシタ、決算額ニ依リマシタノデ、前ヨリ數字ガ違ッテ參リマシタノデアリマス、尙是ハ此ノ敷地ノ賣却ニ依リマシテ、金額ハ調達出來ル見込デアリマス、總額ハ矢張り後ノ十三年度以降ニ於キマシテ入ッテ參リマス豫定デゴザイマス

○堀切善次郎君 次ハ赤字公債追加發行法案ニ付テ、一點ダゲ御同ヒ致シマスガ、繼續費ノ總計表ヲ見マス、一般會計ノ方ノ數字ハ、十二年度ヨリモ十三年度ノ方ガ更ニ尙二千萬圓バカリ殖エテ行クヤウナ數字ニ見エマス、詰リ繼續費ノ總額ガ十三年度ノ方ガ十二年度ヨリ多イト云フヤウニ見エマスカラ、何カ特別ノ變化ノナイ限リハ、此ノ赤字公債ト云フモノハ、此ノ十三年度ノ赤字公債ハ、十二年度ヨリ更ニ又餘計ナ公債ヲ發行シナクチャナナイト云フ實情ニ

來サウデスガ、大體見込ヲ付ケテ宜イモノ
ナンデセウカ、何カ其ノ見込違ヒガアリマ
セウカ

○政府委員(賀屋興宣君) 此ノ十三年度ノ

豫算ノ金額ハ、ドウ云フ風ニナリマスカ、
其ノ内デ赤字公債ガドウナリマスカト云フ
コトハ、只今ノ所全ク豫定ガ付キマセヌデ
ゴザイマス、先程ノ、今ノ御話デ繼續費ノ
年割額ガ明年ハ殖エル、斯ウ云フ御話デゴ
ザイマス、其ノ點カラ見レバ赤字公債ガ殖
エル傾向ニハアルト御考ヘニナリマスノモ、
一應ハ御尤モデアリマスカ、來年ノ歳出額
ガドウナルカト云フコトハ分リマセヌノ
ト、サウシテ租税モ、來年ハ大體本年度ノ
臨時増徴ノ上ニ更ニ大イニ増税ヲスルトハ
考ヘテ居リマセヌ、税制整理ヲ主トシテ、
制度ノ整備ヲ主トシテ根本案ヲ立テルト云
フコトニナッテ居リマスカ、本年度ノ増徴額
ヨリモ下ルコトハアルマイト思ヒマス、其
ノ上ニ又歳入ノ自然増收モアリ得ルト考
ヘルノデアリマスカ、假ニ歳出ガ今年度
ト同額デアリマス、赤字公債ハ、寧ロ二
千萬圓カラ繼續費ガ殖エテモ、其ノ他ノ
點ガ同ジナレバ赤字公債ハ減セル見込モア
ルト思ヒマス、併シナガラ外ノ歳出ガドウ
ナルカ分リマセヌカラ、只今ノトコロ全ク

見込ハ申上ゲ兼ネル次第デアリマス

○堀切善次郎君 其ノ點ハ了承致シマシタ、

尙此ノ前ニ赤字公債法ノ時モ私ハチヨット
伺ッテ、政府委員ノ御答辯モ伺ッテ居ルノデハ
アリマスカ、今次官ノ御説明ノ中ニソレガ
出テ來マシタカラモウ一度念ノ爲ニ御伺ヒ
シタイト思ヒマスカ、ソレハ陸海軍ノ四千
六百萬圓ノ關係デアリマスカ、是ハ起債ヲ
多分シナイデモ濟ムデアラウト云フ次官ノ
御説明デシタガ、若シ起債ガ要ラナイモノ
ナラバ、豫算ノ方ニハ一應辻褄ヲ合セル爲
ニソレヲ計上シテ置イデモ、法律ノ方ノ金
額ハ除カレルト云フコトガ穩當ナノデヤナ
イカト思フノデスガ、唯私ハ私自身デ解
釋シテ居マシタコロデハ、此ノ四千六百
萬圓ハドウ云フ風ニナルカト云フコトニ付
テハ、豫算總會ノ最後ノ時ニ西野サントノ
應答ニ依ッテモ推察出來タノデアリマスカ、
今日通過シタ赤字公債法ノ第二條デ、結局
此ノ年度ノ此ノ金額ノ内デ繰越サレルト云
ウヤフナ性質ノモノニナルノデヤナイカト
自分ダケデ解釋シテ居タノデスガ、是ハ全
然起債ヲ要シナイト云フ金額ニナリマセウ
カ、若シ起債ヲ要シナイノダト云フコトニ
ナレバ、ソレダケノ數字ヲ減シテ置ク方ガ
穩當デヤナイカト云フヤウナコトニ考ヘラ

レルノデスガ、ソコハドウ云フモノデセウ
カ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御話デア

リマスカ、四千六百萬圓ノ歳出ハ、是ハ全
クドウナルカト云フコトハ未定デアリマス、
中ニハ或ハ不要額ニナリマシテ、要ラナイ
モノモ出來ルカ分リマセヌ、又十三年度ニ
於キマシテ陸海軍兩省所管ノ繼續費ノ改定
ヲ行ッテ後年度ニ繰延ベルト云フモノガ出
來ルカ知レマセヌガ、御察シノ如ク所謂翌
年度繰越ト云フコトニナルノガ多イノデナ
イカ、マア大體三ツノ内ニ極ル譯デアリマ
ス、三者全部アリマスルカ全ク分リマセヌ
ガ、翌年度ニ繰越セルモノガ最も多イノデ
アラウト思ヒマス、サウ致シマスレバ、御
說ノ如キ其ノ財源ハ赤字公債法ノ、既ニ御
審議ニナリマシタ方ニ、歳出ノ翌年度繰越
額ニ付テハ、之ヲ翌年度ニ於テ募集スルコ
トガ出來ル、斯ウ云フ風ニナッテ居リマスノ
デ、其ノ條項ニ依リマシテ多分翌年度ヘ繰
越ニナルモノガ大部分デアリマスカ、併シ
ナガラソレ以外ノコトニ依ッテ決著スルト
云フコトハ全然分ッテ居リマセヌノデスカ
ラ、ソコデ起債ノ御協賛ヲ得テ置キマシテ
本年度内ニ募集スル必要ハアリマセヌガ、
翌年度ニ於テ歳出ヲ繰越ストトモニ募集ヲ

繰越シテ十二年度ニ繰越サレタ歳出ノ財源
ニ充テル、斯様ナ結果ニナリマスノデ、矢
張り御協賛ヲ得テ置クコトガ決シテ不當デ
ナイヤウニ思ッテ居ル次第デアリマス

○堀切善次郎君 最後ニ日本銀行金買入法

ニ付テ色々細々シイ事ヲ非常ニ澤山ノ條項
ニ依ッテ伺ヒタイト思フノデスガ、私素人デ
或ハ非常ニ見當ノ外レタヤウナ質問ニナリ
マスカ知レマセヌガ、素人ニ解リ易イヤウナ
工合ニドウゾ御説明ヲ願ヒタイノデアリマ
ス、先ヅ第一ニ日本銀行ノ金買入ト云フノ
ハ、日本銀行ニ金ヲ買入レサスノハ金ヲ成
ルベク澤山政府ノ方ガ保有シテ居ヨウト云
フ目的カラ行クモノデアリマセウカ、或ハ
今度ノヤウナ海外拂ノ爲ニ外國ニ現送スル
ト云フヤウナ場合ノコトヲ豫想シテ、或程
度デ買入レルト云フコトニナルノデセウカ、
或ハ兩方合セテノ目的ニナルノデスカ、其
ノ點ハ第一ニドウ云フ風ニナルモノデセウ
カ

○政府委員(賀屋興宣君) 金ハ結局ハ澤山
國內ニアリマスルコトハ貨幣制度ノ基本ト
シテ必要ナノデアリマスルガ、現在ノ通貨ノ
狀況、通貨ニ關シマスル觀念カラ申シマス
ト、結局此ノ國內ノ流通ノ爲ニ金ガ必要タ
ト云フコトハマア殆ド今日ニ於テハ考ヘラ

レマセヌノデアリマス、結局はハ國外ノ決濟ニ用ヒル時ニ必要デアル、外國カラ物ヲ買フ、其ノ爲ニ必要デアル、是ガマア基本デアリマス、併シサウ云フコトヲ致シマスル爲ニ平生カラ金ガ貯ヘテ澤山アリマスルコトガ必要デアルノデアリマス、結局ハ外國ヲ目當デアリマス、國外カラ物ヲ買フト云フコトガ目當デアリマスルガ、サウ致シマシテモ差向キ其ノ爲ニ金ヲ使フト云フヨリモ、將來サウ云フコトモ考ヘテ、貨幣制度ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニ金ヲ成ルベク國內ニ保有シヨウ、斯ウ云フ風ナ考ヘ方ニナリマス場合ト、今外國カラ物ヲ買ヒマスル爲ニ國際收支ノ差額ノ決濟ノ爲ニ送ルト云フ、既ニ目前ニ其ノ必要ヲ見マスル場合、是ハ大體傾向ハ兩方ニナルト思ヒマス、其ノ兩方ノ傾向ノ内デ、本法ノ初メ出マシタ時ニハ國內ニ成ルベク溜メテ置カウト云フ方ガ殆ド全部ノ目的デアリマシテ、デ五條ニ於テ唯併シナガラソレノミデハ窮屈デアツテ、場合ニ依ツテハ送ル必要モアルカラト云フノデ五條ノヤウナモノガ設ケテデアリマス、トコロガ只今ノ狀況ニナリマス、國內ニ出來ルダケ多ク蓄積スルト云フ必要ハ減ルノミナラズ、之ヲ多少國外ニ使フト云フ、斯ウ云フ必要ノ方ガ間近ク現ハレテ參リマ

シタ爲ニ、五條ノ今松浦サンノ御質問ノアリマシタ節ニ申上ゲマシタヤウニ、素直ニ之ヲ送ルト云フ途ヲ開キマシタ次第、只今デハ兩方ノ目的ガアル、送ル爲ニ使ヒ、又出來レバ之ヲ溜メテ行カウマア兩方ダ、斯ウ云フ風ニ御承知願ツタラ宜シウゴザイマト思ヒマス

○堀切善次郎君 サウシマス國內ノ産金ハ成ルベク之ヲ澤山買上ゲテ行クト云フヤウナコトニ、イツマデモナッテ行クノカト思ヒマスガ、此ノ限度ヲ二億圓、四億圓ニシタコロデ、是ハ來年ノ議會ニハ、是デ差支ナイガ、其ノ次ノ年ニハモウ直グ足リナクナッテシマフト云フヤウナ風ニ考ヘラレ

ルノデスガ、年々カ、或ハ一年置クラキニ、サウ云フ風ニ此ノ法律ヲ直シテ行クヨリモ、ズツト餘計ナ金額ニシテ置ク方ガ當然ナコトニナルノデアリマスマイカ、ソレハドウ云フ譯デセウカ、小刻ミニ刻ンデ置ク方ガ……

○政府委員(賀屋興宣君) 堀切サンノ御説ノヤウナコトハ當然考ヘ得ルノデアリマスガ、併シ是ハ何デゴザイマス、デハドノ位マデ買フカ、例ヘバ十億ト云フ時ニ何年經ッテモ十億デ釘付ケカト言ヒマス云フト、サウモ參リマセヌノデ、ソコマデ行キマシ

タラ又同ジヤウナコトヲ繼續シテ行クヤウナ必要ガ起ルカモ知レマセヌ、結局其ノ切リト云フモノハ只今ニ於テ、將來ノ最終ノ切リノ見通シヲ金額ニ於テ付ケルト云フコトハ困難ノ事情ガアリマスノデ、先ヅ是ハ事實ハサウ國庫ノ負擔ニナリマセヌ、ト申シマスノハ之ヲ以テ債務證書ヲ入レマスガ、同時ニソレハ金ノ實際ノ價值以上ニハ買ハナイノデアリマスカラ、一方日本銀行ガ處分致シマシテ、利益ガ出マスノ政府ニ受入レマスカラ、決シテ此ノ歳入ノ負擔ト云フモノハ政府ノ方ノ負擔ニナル嫌ノモノデアリマセヌガ、形式ニ致シマシテモ、兎ニ角國庫ノ負擔ニナルモノデアリマスカラ、今カラサウ大キナ限度ヲ極メマシテ、豫メ御協賛ヲ願ヒマスルヨリモ、先ヅ最終ノ限度ト云フモノハ分リマセヌガ、其ノ目前ノ必要ダケヲ御協賛ヲ經テ行ッテモ宜シイデヤナイカト云フノデ今マデハ參リマシタ、今回モドウセ是ハモウ當分續クノダカラト云フノデ、兩三年ノコトヲ考ヘマシテ、或ハ五億トカ七億ニ協賛ヲ得テモ、ソレデモ宜イト思ヒマシタガ、從來ガサウ云フ考方ヲ致シテ居ル爲ニ其ノ考方ハ無論絕對デアリマセヌ、無論改メテモ宜イノデスガ、一應從來ノ考方ニ即シマシテ提案ヲ致シマシ

タ次第デアリマス

○堀切善次郎君 サウシテ此ノ金ヲ現送スルノガ結局爲替ノ維持等ナンドラウト思フノデスガ、一「シリリング」ニ「ペンズ」ト斯ウ云フコトニ付テ今日本會議デモチヨツト説ガアリマシタガ、餘リソレガ動クコトハイケマスマイガ、何カ此ノ一「シリリング」ニ「ペンズ」ニ押付ケテ、何處迄モ押付ケテ行クト云フコトニ何カ一ツノ根據ガアルモノナンドセウカ

○政府委員(賀屋興宣君) 是ハ此ノ一「シリリング」ニ「ペンズ」ト云フ數字ニ何處マデモ附イテ行クト云フ意味デハマアアリマセヌ、唯此ノ國際通商、金融其ノ他ノ上カラ見マシテ、此ノ爲替相場ガ或點ニ落著イテ居ルト云フコトガ非常ニ必要ナノデアリマス、サウシテ只今ノ狀況ハ、爲替相場ガ下レバ下ル程輸出ガ發展シテ輸入ガ防遏サレル、國際貸借ガ好クナル、斯ウ云フ狀況デハ實ハモウナイノデアリマス、是ハ餘程數年前ヨリモ狀況ガ違ッテ居ル、只今ノトコロコデハ輸出ノ上カラ申シマシテモ輸入ノ上カラ申シマシテモ、一「シリリング」ニ「ペンズ」ト云フ相場ヲ維持スルト云フコトガ最モ適當ナリト、斯ウ云フ判斷デアリマス、是ハ狀況ガ變ラヌ一「シリリング」ニ「ペンズ」ヨリ稍

下ッテモ宜シイカモ知レマセヌガ、只今ハモ
ウ是ハ下ゲナイデ之ヲヤッテ行クト云フコト
が必要ナノデアリマス、抽象的ニ申上ゲマ
スレバ、輸出輸入其ノ他全般的ノ國際貸借
ノ關係ヲ睨ミマシテ、程ノ宜イトコロデ市
價ヲ安定スルト云フコトが必要デアリマシ
テ、只今ノトコロノ、當分ノ間ハ勿論「シ
リング」ニ「ペン」ス「ダラウト」思ヒマス

○堀切善次郎君 今度ノ豫算ガ二十八億デ
相當軍事費ニ付テ多クナッテ來マス、矢張
リ色々ノ關係デ海外拂ガ相當ニ多クナリハ
シナイカ、從ッテ斯ウ云フ爲替ノ變動ノ虞モ
相當アリハシナイカ、同時ニ矢張り此ノ金
現送ハ必要ガ餘程増シテ來ハシナイダラウ
カ、ト云フヤウナ風ニ感ゼラレルノデス
ガ、ソレニ付テノ御見込ハ如何ナモノデア
リマセウカ

○政府委員(賀屋興宣君) 爲替相場ノ此ノ
昨年ノ終リニ近イ頃マデハ「シリリング」ニ
「ペン」スガ動搖スルト云フヤウナコトハ殆
ドマア考ヘテ居リマセヌデス、相當豫算ハ
勿論急ニ増加シマスト云フコトガ世間ニ分
リマシテ、既ニ豫算ガ増加シナイ前カラ其
ノ結果ヲ豫測シテ商賣スル、商賣ハ先ニ走
ルモノデアリマスガ、只今ノ思惑増加ト云
フモノガ起ッテ參リマス、其ノ結果爲替ノ管

理法ノ一ツノ發動ヲ致シマシテ、貿易決濟
ノ爲ノ手形ニ付キマシテモ相當ノ此ノ抑制
ト申シマスルヨリモ調節ヲ試ミル、斯ウ云フ
コトモ致シ、同時ニ相當物資ヲ輸入スル必
要ガアルノデアリマス、輸入ヲ餘リ抑壓シ
ナイデ、而モ爲替相場ヲ下ゲナイト云フノ
デ、金ノ現送ヲ若干致シマシタ次第デアリ
マス、大體仰セノ如ク相當其ノ必要ガ起ッテ
來ルト云フコトデアラウト思ヒマス、只今
ノトコロ、サウ云フ多額ノモノヲ送ル必要
モアルマイト思ヒマスガ、或程度ノモノハ
是カラ年々現送ノ必要ガアルノデハナイ
カ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堀切善次郎君 此ノ政府ハ或ハ日本銀行
ノ方ニアル正貨ノ高ガドレ位アルモノナン
デセウカ、ソレカラ金ノ買上ノ價格ハ一匁
現在幾ラニナッテ居リマセウカ、ソレカラ
金ノ買上ノ價格ガ少シ外國ノ値段ヨリモ安
イ爲ニ、折角朝鮮アタリデ產出サレタ金ガ
外國ノ方ヘ密輸出スルモノガ相當ニアルト
云フヤウナコトヲ言ッテ居ルノデスガ、此ノ
買上ノ價格ヲ上ゲテ密輸出ト云フヤウナコ
トノナイヤウニ、少シ滿洲等ニ此ノ產金ノ
獎勵ニモ役立ツヤウナ風ニスルト云フコト
ハ考ヘラレナイモノナンデセウカ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ此ノ正貨

準備ハ一匁五圓ノ割合ニ致シマスト、五億
四千萬圓見當ダラウト思ヒマスガ、只今ノ
時價ニ換算致シマスト約十六億デアリマス、
實際ノ市價カラ申シマスト只今日本ハ十六
億ノ正貨準備ガアリト、斯ウ申シテモ宜シイ
ト思ヒマス、勿論此ノ十六億ト申シマスル
ト、大變宜イヤウデアリマスルガ、「ドル」其
ノ他ニ比ベテ圓ガ下ッテ居ルノデアリマス
カラ、十六億ト云フ數字ハ大變多イノデアリ
マスガ、同時ニ、チョット感ジマスルホド
國際的ニ力ガアルカト云フト、是モ亦別ニ
多少考ヘナケレバナラスト思ヒマス、只今
ノ買上價格ハ一匁十三圓十二錢五厘デアリ
マス、是ハ「ロンドン」ノ金塊相場ヲ日英爲替
相場デ日本ノ貨幣ニ換算シタモノノ約十割ヲ
標準ニ致シテ居リマス、イヤ九割デス、昨
年度マデハ此ノ八割ヲ標準ニシテ居リマシ
タガ、ドウモ今仰セノ如ク、密輸出等ノ流
出モアリマス、ソレヲ防グ必要モアリマス、
又產金額ノ増加ヲ圖ル必要モアリマスノデ、
昨年此ノ九割ニ引上ゲマシタ次第デアリマ
ス、滿洲國政府ガ矢張り同ジヤウナ九割ノ
標準デ買ッテ居リマシテ、今日滿兩國トモ同
ジ値デ買ッテ居リマス、是ハ九割ト云フモノ
ガ滿洲國政府ガ日本ガイツ迄モ八割デヤリ
マシタ時ニ、滿洲國ガ九割デアリマシタノ

デ滿洲ニ持ッテ行ケバ一割以上好クナルモ
ノデアリマスカラ、隨分アチラヘ出タヤウ
デアリマス、只今ハマア同ジデアリマスカ
ラ、サウ云フコトハアリマセヌ、日滿ノ間
デアリマスカラ、ドチラヘ持ッテ行ッテモ宜
イヤウナモノデアリマスガ、仰セノ如ク是
ハ外國ニ出マストカ其ノ他ノ國ニ出マスト
云フコトニナリマスト、餘程是ハ警戒ヲ要
シマスガ、九割位ニ致シテ置キマスト云フ
ト密輸出ノ方ハウマクヤリマセヌト相當費
用ガ掛ル、取締ガナカク嚴重デアリマス
カラ非常ニ費用ノ掛ル場合モアリマスシ、大
體マア大キナ流出ハ無イヤウニ今存ジテ居
リマス、尙併シナガラ又多少デモソレヲ防
グ意味ニ於テ、產金ヲ獎勵スル意味ニ於テ
更ニ買上價格ヲ引上ゲテハドウカト云フコ
トガ屢々問題ニナルノデアリマス、政府モ是
ハ引上ゲナイトハ申シマセヌ、或ハ引上ゲ
ルコトガアルカモ知レマセヌ、唯斯ウ云フ
コトモ考ヘラレルノデアリマス、今金ト云
フモノガ斯ンナヤウナ値デズツ續ケルカ
ドウカ、「アメリカ」デハ相當三十一「オン
ス」、三十五「ドル」デアリマスガ、多少ノ
手數料ヲ引キマスガ、ソレデ買ッテ居リマ
ス、ソレカラ「ロンドン」ニ於テ始終相場ガ
立チマシテヤッテ居リマスガ、大體貨幣ハ金

貴族院

カラ離レテ居ル、「フランス」其ノ他ハ飽ク迄モ「ゴールド」ニ付イテ居リマシタノデスガ、「フランス」ガ金カラ離脱致シマシテ、從ッテ「オランダ」、「スイス」モ金カラ離脱

致シマシテ、世界ノ通貨ハモウ國際經濟
云フ以外ニ金ト何モ縁ヲ結ンデ居ル必要ハ
無い、金ノ必要ト云フコトハ國際決済ダケ
デアリマス、又ソレハ自然ダラウト思ヒマ
ス、サウ云フ狀況デアリマスカラ考ヘヤウニ
依ッテ金ノ需要ト云フモノハ減リマスコトト
考ヘラレルノデ、外國ノ學者アタリデモ將
來金ノ値ハ下ルノダ、兎ニ角下ル傾向ニア

ルノダ、斯ウ云フ説ヲ持ツテ居ル人モアルト
思ヒマスシ、私共モ其ノ説ニ對シテ或程度

肯定シテ宜シイト斯ウ云フ風ニ考ヘルコト
モ出来マス、併シナガラ一方國際間ノ情勢
ト云フモノハ非常ニ不安ナ點モアリマスノ
デ、此ノ際金ヲ持ッテ居ルト云フコトハ非常

ナ一方ニ於テカデアリマス、サウ云フコト
カラ考ヘレバ金ハ容易ニ下ラナイ、或ハ上
ルカモ知レナイ、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレ

マス、殊ニ「フラン」ガ金カラ離レマシタ場合ハ、既ニ世界中ニ於テ貨幣ハ國內的ニ金カラ離レタト云フ時デアリマスガ、ソレ以後ニ於ケル「ロンドン」ノ金塊相場ト云フモノハ餘リ下ツテ居リマセヌ、寧ロ稍々上リ氣

味ニナツテ居リマス、ソレデドノ位ノ長イ目
デ見タラ是ガ下ルモノデアルカ、ドノ位長
イ目デ見タラ是ガ上ルモノデアルカト見ル
ノガ、是ハナカ／＼ムツカシイ問題ダト思

ヒマスガ、サウ云フ點モ考ヘラレマスノデ、
之ヲ餘リニ上ルト云フコトニ對シテモ、
スベキ理由モ相當アル、決シテ上ガナイト
ハ申シマセヌガ、同時ニサウ云フコトモ考
ヘラレマスノデ單純ニ産金獎勵ノ意味デド
シドシ之ヲ上ルト云フ結論ニ行キマスニ
ハ、相當考ヘサセル所モアルノデアリマス
○堀切善次郎君 最後ニモウ一ツ伺ヒマス

ガ、此ノ次ノ問題ノ第五條ノ問題デスガ、
第五條ノ規定ハ先刻モ御答辯ノアリマシタ

ヤウニ、現在ノ規定デモ此ノ間ノヤウナ海
外ニ現送スルト云フコトハ、現在ノ規定デ
モ出來ル譯デアリマスガ、ソレヲ特ニ今度
ノ日本銀行ニモ大藏大臣ガ處分ヲ命ズルコ

トガ出來ルト云フ規定ヲ特ニ之ヲ入レル必
要ハ簡單ニ言ヘバ、ドウ云フ理由ニナルノ
デアリマセウカ

○政府委員(賀屋興宣君) 是ハ元ノ規定ハ、政府ハ海外拂其ノ他特別ノ必要デ政府自身ガ海外拂ヲ致シマス場合ニ使フト云フヤウナコトヲ主ニシテ居ル、其ノ他特別ト云フ文字ガ入ッテ居リマス、ソレニ限ッテハ居

リマセヌガ、サウ云フコトヲ主ニシテ居リ
マスカラ、日本銀行カラ政府ノ手ニ移シテ、
サウシテ向フヘ送ツテ、日本國債ノ元利拂等
ニモ充テルト云フコトヲ豫想シテ居リマシ

タ爲ニ是ハ政府ノ勘定ニ移シテ行ク、斯ウダツタノデアリマスガ、今カラノ必要ハ政府ノ海外拂ト言ハズ、民間ノ海外拂ト言ハズ、日本ト云フモノノ國際收支ノ決裁ノ爲ニ在外ノ資金ヲ充實スル、外貨資金ヲ充實スルト云フコトガ主デアリマスカラ、何モ態々政府ノ手ニ移ス必要ハ無いノデ、政府ノ手ニ移シマシテモ亦向フデ之ヲ賣リマシ

テ、賣ッタモノハ爲替銀行ノ正金銀行等ノ資力ニナルノデアリマス、サウ云フ必要ノ無

イ手數ヲ踏マズニ向フニ日本銀行ガ直接ニ
持ッテ行ッテ、ソレヲ國債償還ニ充テル、是
ガ自然デアリマス、具體的ノ不便カラ言ヒ
マスト云フト、假ニ一億ナラ一億ヲコチ

ラカラ送ルト致シマス、之ガ爲メ政府ノ
日本銀行ニ對スル預金ト云フモノハ減ルコ
トニナル、使ヒ得ル預金ト云フモノガ減ル、

ソノ爲ニ大藏證券ヲ發行スル、國債發行時期ヲ早メルト云フ不便モ生ズルノデアリマス、從ツテ目的カラ云ツテ自然ナ手段ニ直ス、斯ウ申上ゲテ宜シカラウト思ヒマス

○堀切善次郎君 御答辯デ了承致シマシ

タ、私ノ質問ハ是デ終リマシタ
○委員長（侯爵小村捷治君） 他ニ御質疑ハ
ゴザイマセヌカ……御質疑ナイモノト認メ
マシテ討論ニ入リマス

○堀切善次郎君 此ノ法案四案ハ、何レモ

已ムヲ得ナイ必要ナ案ト認め、原案ニ賛成
シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長（侯爵小村捷治君） 全部御賛成ト
認メマス、是ヨリ採決致シマス、本法案四
案、全部御賛成ト認メテ御異議ハゴザイマ
セヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長（侯爵小村捷治君） 本法案四案ハ

當委員會ヲ通過致シマシタ、皆サン永々御
苦勞デゴザイマシタ、是ニテ散會致シマス

午後五時四十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長
侯爵小村
捷治君

副委員長 堀切善次郎君

委員

松浦鎮次郎君

子爵綾小路 護君

男爵今園 國貞君

加藤政之助君

宇野 勇作君

政府委員

氏家 清吉君

法制局參事官兼
內閣恩給局長 樋貝 詮三君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省主計局長 廣瀨 豐作君

大藏省理財局長 關原 忠三君

大藏書記官 木内 四郎君

文部書記官 服部 纘君

昭和十二年三月三十日印刷

昭和十二年三月三十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局